

## ニーズ調査結果から算出された「量の見込み」について

### 1 「量の見込み」について

市町村は、子ども・子育て支援事業計画策定にあたり、地域の子どもの数や教育・保育施設等の設置状況を踏まえ、「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」が適切に提供されるよう、その「量の見込み」と提供体制の「確保方策」を定めることとなっています。

市町村は、現在の利用状況の把握するとともに、ニーズ調査等を行い、これらを踏まえて「量の見込み」を算出し、具体的な目標設定を行うことが求められています。

### 2 「量の見込み」の算出方法について

#### ニーズ調査の実施

- ・平成25年度に実施

#### 人口推計

- ・計画期間中(H27～31)の対象児童数を推計

#### 量の見込みの算出

- ・父母の就労状況や就労希望から家庭類型を分類
- ・保育園・幼稚園等の利用状況や利用希望から家庭類型ごとの利用意向の割合を算出する。
- ・人口推計と利用意向割合から、教育・保育提供区域ごとに量の見込みを算出する。

### 3 人口推計について

人口推計については、現在滝沢市で策定中の次期総合計画の推計データを利用し、対象年度及び年齢ごとに補正した数値を使用しています。

	年齢階級	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
総計推計値	0～4	2,208	—	—	—	—	2,103
	5～9	2,592	—	—	—	—	2,239
	10～14	2,792	—	—	—	—	2,653
	計	7,592	—	—	—	—	6,995

	年齢階級	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
「量の見込み」推計値	0	436	434	424	414	403	414
	1	439	438	428	418	407	418
	2	451	450	439	429	418	429
	3	456	455	445	434	422	434
	4	426	426	417	407	397	408
	5	518	528	513	498	482	449
	6	495	499	485	472	458	425
	7	536	546	530	516	501	465
	8	528	534	519	505	490	455
	9	515	522	507	494	479	445
	10	559	542	539	537	535	529
	11	525	513	510	510	508	503
	12	562	543	540	539	537	531
	13	571	555	552	551	549	543
	14	575	560	557	556	553	547
	計	7,592	7,545	7,405	7,280	7,139	6,995

### ○放課後児童健全育成事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を与えて健全育成を図る事業です。新制度では、その対象者が「おおむね10歳未満の児童」から「小学校に就学している児童」に変更になりました。

### ○時間外(延長)保育事業

保育所の標準開所時間(11時間)を超えて保育を行うものをいいます。

### ○子育て短期支援事業(ショートステイ)

子育て短期支援事業とは、保護者の疾病その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等の施設に入所させ、必要な保護を行う事業をいいます。

### ○地域子育て支援拠点事業

乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業をいいます。

### ○一時預かり事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳児又は幼児について、主として昼間において、保育所、認定こども園その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業をいいます。

### ○病児・病後児保育事業

病気の治療中又は病気の回復期にあるために集団保育が困難な乳幼児等について、保育所、認定こども園、病院、診療所等の施設において、保育を行う事業をいいます。

### ○ファミリー・サポート・センター事業

地域において、児童の預かりの援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行い、会員相互の子育て支援活動を行う事業をいいます。

ニーズ調査結果から算出された「量の見込み」

○1号認定

(単位:人)

家庭類型		幼稚園入所児童数	1号認定:3才以上の子ども (保育の必要性なし) 【就学前アンケート 問11】				
			H25.5.1	H27	H28	H29	H30
タイプA	ひとり親	913 (うち市内園児662)	0	0	0	0	0
タイプB	フルタイム×フルタイム		0	0	0	0	0
タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプC'	フルタイム×パートタイム(就労時間:月下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		92	93	90	88	85
タイプD	専業主婦(夫)		281	283	276	269	261
タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		6	6	6	6	6
合計		913	379	382	372	363	352

問11(平日定期的に利用したい教育・保育の事業)で「幼稚園」または「認定こども園」を選択した者の割合から算出

幼稚園のニーズ

H27年度で見ると、幼稚園の「量の見込み」は610人(379+231)。H25.5.1の幼稚園入所市内児童数は662人なので、現状で概ね提供体制は確保されていると考えられる。

教育ニーズ:問10-1(平日定期的に利用している教育・保育の事業)で「幼稚園」を選択した者の割合から算出

保育ニーズ:問11で「幼稚園」から「認定こども園」のいずれか(ファミリー・サポート・センターを除く)を選択した者の割合から教育ニーズの割合を控除し算出

○2号認定

(単位:人)

家庭類型		保育所入所児童数	2号認定:3才以上の子ども (保育の必要性あり) 【就学前アンケート 問10-1、11】														
			H27			H28			H29			H30			H31		
			教育 ニーズ	保育 ニーズ	計	教育 ニーズ	保育 ニーズ	計	教育 ニーズ	保育 ニーズ	計	教育 ニーズ	保育 ニーズ	計	教育 ニーズ	保育 ニーズ	計
タイプA	ひとり親	3才243 4才237 5才251	33	112	145	33	113	146	32	110	142	32	107	139	31	104	135
タイプB	フルタイム×フルタイム		106	422	528	107	424	531	104	414	518	102	403	505	99	392	491
タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		89	208	297	89	209	298	87	204	291	85	199	284	82	193	275
タイプC'	フルタイム×パートタイム(就労時間:月下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タイプD	専業主婦(夫)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		3	0	3	3	0	3	3	0	3	3	0	3	3	0	3
合計		731	231	742	973	232	746	978	226	728	954	222	709	931	215	689	904

保育園のニーズ

【3~5才】  
H27年度を見ると、3~5才の保育園の「量の見込み」は742人。H25.4.1の3~5才の保育園入所児童数は731人なので、現状で概ね提供体制は確保されていると考えられる。  
※更に提供区域ごとの検討は必要となる。

【0才】  
H27年度を見ると、0才の保育園の「量の見込み」は276人。H25.4.1の0才の保育園入所児童数は96人なので、提供体制は大きく不足していると考えられる。

【1・2才】  
H27年度を見ると、1・2才の保育園の「量の見込み」は518人。H25.4.1の1・2才の保育園入所児童数は456人(202+254)なので、提供体制は不足していると考えられる。

問11で「認可保育所」から「認定こども園」のいずれか(ファミリー・サポート・センターを除く)を選択した者の割合から算出

○3号認定

(単位:人)

家庭類型		保育所入所児童数	3号認定:3才未満の子ども (保育の必要性あり) 【就学前アンケート 問11】														
			H27			H28			H29			H30			H31		
			0才	1・2才	計	0才	1・2才	計	0才	1・2才	計	0才	1・2才	計	0才	1・2才	計
タイプA	ひとり親	0才 96 1才202 2才254	18	43	61	17	43	60	17	42	59	17	41	58	16	40	56
タイプB	フルタイム×フルタイム		190	307	497	189	306	495	184	299	483	180	292	472	175	285	460
タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		68	159	227	67	159	226	66	155	221	64	151	215	63	148	211
タイプC'	フルタイム×パートタイム(就労時間:月下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0	9	9	0	9	9	0	9	9	0	9	9	0	9	9
タイプD	専業主婦(夫)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		552	276	518	794	273	517	790	267	505	772	261	493	754	254	482	736

※下限時間:滝沢市は月60時間

## ニーズ調査結果から算出された「量の見込み」

### ○放課後児童健全育成事業

(単位:人)

	家庭類型		入所児童数	(1)5才時点での利用意向を基にした「量の見込み」 【就学前アンケート 問20、21】					(2)就学児の利用意向を基にした「量の見込み」 【小学生アンケート 問13】				
				H25.5.1	H27	H28	H29	H30	H31	H27	H28	H29	H30
低学年	タイプA	ひとり親	1年生225 2年生180 3年生153	142	143	139	136	132	41	42	40	39	38
	タイプB	フルタイム×フルタイム		483	489	475	463	449	205	207	201	196	190
	タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		174	176	171	166	161	107	109	106	103	100
	タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計			558	799	808	785	765	742	353	358	347	338
高学年	タイプA	ひとり親	4年生103 5年生63 6年生28	62	61	61	60	59	34	34	33	33	32
	タイプB	フルタイム×フルタイム		152	150	148	146	144	183	181	179	177	175
	タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		84	82	81	81	80	93	91	90	89	88
	タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計			194	298	293	290	287	283	310	306	302	299
合計			752	1,097	1,101	1,075	1,052	1,025	663	664	649	637	623

※下限時間:滝沢市は月60時間

#### 検討事項

「量の見込み」算出にあたり、「5才時点の利用意向」と「就学児の利用意向」のどちらのデータを利用するか?  
 ※5才時点での利用意向では不足、就学児の利用意向では充足  
**全国的に就学児の意向による算出が推奨されています。**

## ニーズ調査結果から算出された「量の見込み」

### ○時間外保育事業

(単位:人)

家庭類型		延長保育実 利用人数	H27	H28	H29	H30	H31
		H26.3.31					
タイプA	ひとり親	実施個所 14	79	79	77	75	73
タイプB	フルタイム×フルタイム		516	516	504	492	478
タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		125	126	123	119	116
タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		3	3	3	3	3
合計		872	723	724	707	689	670

対象:0~5才以下

問11(平日定期的にご利用したい教育・保育の事業)で「認可保育所」から「認定こども園」のいずれか(ファミリー・サポート・センターを除く)を選択した者で、かつ問10-2(2)(利用希望時間)で「18時以降」と記入してある場合の割合から算出

### ○子育て短期支援事業(ショートステイ)

(単位:人日)

家庭類型		延利用日数	H27	H28	H29	H30	H31
		H26.3.31					
タイプA	ひとり親	施設数5 実人数4	0	0	0	0	0
タイプB	フルタイム×フルタイム		0	0	0	0	0
タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプC'	フルタイム×パートタイム(就労時間:月下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプD	専業主婦(夫)		0	0	0	0	0
タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプE'	パートタイム×パートタイム(就労時間:いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプF	無業×無業		0	0	0	0	0
合計		20	0	0	0	0	0

対象:0~5才以下

問19(泊りがけの預け先)に回答した者のうち、「ショートステイを利用した」、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の割合から算出

## ニーズ調査結果から算出された「量の見込み」

### ○地域子育て支援拠点事業

(単位:人回)

家庭類型		月当たり利用回数	H27	H28	H29	H30	H31
		H26.3.31					
タイプA	ひとり親	実施箇所4 年間延利用回数 16,491 16,491/12	23	23	22	22	21
タイプB	フルタイム×フルタイム		365	364	356	347	338
タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		356	355	346	338	330
タイプC'	フルタイム×パートタイム(就労時間:月下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		146	146	142	139	135
タイプD	専業主婦(夫)		625	623	609	595	579
タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプE'	パートタイム×パートタイム(就労時間:いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0
タイプE''	パートタイム×パートタイム(就労時間:いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0
合計		1,374	1,515	1,511	1,475	1,441	1,403

対象:0~2才以下

問14(地域子育て支援拠点事業の利用状況)で「利用している」と回答した者と、問15(地域子育て支援拠点事業の利用意向)で「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した者の割合と月当たり平均利用回数から算出

#### 検討事項

「量の見込み」が、現状の利用実績の3.5倍となっているが、数値の精査が必要。

また、実施箇所数を増やす必要があるのか、現施設で対応することが可能か検討する必要があります。

→問14+問15の結果、月30日あるいは週7日を超えるケースを調整しました。

#### 【参考データ】

実施施設名	交流の場の年間延利用回数実績A	月当たりA/12
大釜保育園子育て支援センター	1,161	97
牧の林すずの音保育園地域子育て支援センター	6,015	501
なでしこ保育園地域子育て支援センター	3,300	275
南巢子保育園子育て支援センター	6,015	501
計	16,491	1,374

# ニーズ調査結果から算出された「量の見込み」

## ○一時預かり他

(単位:人日)

		家庭類型		実績	H27	H28	H29	H30	H31	
				26.3.31						
幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)	1号認定(3才以上・保育の必要性なし)による利用	タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	実施箇所4 実利用人数 506	92	93	90	88	85	
		タイプD	専業主婦(夫)		281	283	276	269	261	
		タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		6	6	6	6	6	
		タイプF	無業×無業		0	0	0	0	0	
		小計			379	382	372	363	352	
	2号認定(3才以上・保育の必要性あり)による利用	タイプA	ひとり親		506	33	33	32	32	31
		タイプB	フルタイム×フルタイム			106	107	104	102	99
		タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)			89	89	87	85	82
		タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)			3	3	3	3	3
		小計				231	232	227	221	214
合計				506	610	614	599	583	567	
上記以外	タイプA	ひとり親	保育園一時保育利用延人数 2,285 実利用人数 219	59	59	57	56	55		
	タイプB	フルタイム×フルタイム		378	378	369	360	350		
	タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		211	211	206	201	196		
	タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0		
	タイプD	専業主婦(夫)		22	20	20	20	20		
	タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		8	8	8	8	8		
	タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0		
	タイプF	無業×無業		0	0	0	0	0		
	小計			219	679	677	661	646	629	
合計				1,288	1,291	1,260	1,229	1,195		

問11(平日定期的に利用したい教育・保育の事業)で「幼稚園」または「認定こども園」を選択し、かつ問18(不定期事業の利用意向)で「利用したい」と選択した者の割合と平均利用希望日数から算出

2号認定のうち教育ニーズが強い者の問8-1で把握する就労日数から算出

検討事項

算出数値と現状の利用実態との乖離が大きいため数値の精査が必要。結果を「実利用人数(意向)」で修正しました。これまでの数字は利用意向延日数でした。

問18(不定期事業の利用意向)で「利用したい」と選択した者の割合と平均利用日数から算出

対象:3~5才以下

## ニーズ調査結果から算出された「量の見込み」

### ○病児・病後児保育、ファミリー・サポート・センター(病児・緊急対応強化事業) (単位:人日)

家庭類型		延利用日数	H27	H28	H29	H30	H31
		H26.3.31					
タイプA	ひとり親	実施箇所2	841	843	823	802	781
タイプB	フルタイム×フルタイム		4,342	4,350	4,246	4,141	4,028
タイプC	フルタイム×パートタイム(就労時間:月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		1,117	1,119	1,092	1,065	1,036
タイプE	パートタイム×パートタイム(就労時間:双方が月120時間以上+下限時間~120時間の一部)		0	0	0	0	0
合計		991	6,300	6,312	6,161	6,008	5,845

対象:0~5才以下

問16-1(病気やけがで幼児教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法)で、「父親が休んだ」「母親が休んだ」に回答した者のうち、問16-2(病児・病後児保育等の利用意向)で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した者と、問16-1で「病児・病後児の保育を利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」と回答した者の割合と利用希望日数から算出

#### 検討事項

算出された「量の見込み」と現状の利用実績との乖離が大きいため数値の精査が必要。→一人あたりの年間の利用日数を何日に設定するか検討いただきたい

### ○子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター:就学児のみ) (単位:人日)

家庭類型		活動件数	H27	H28	H29	H30	H31
		H26.3.31					
低学年	タイプA	ひとり親	0	0	0	0	0
	タイプB	フルタイム×フルタイム	10	10	10	10	9
	以下他の家庭類型は算出数値が「0」のため記載省略						
	小計		依頼会員421 提供会員97 兼ねる会員29	10	10	10	10
高学年	タイプA	ひとり親	0	0	0	0	0
	タイプB	フルタイム×フルタイム	31	31	30	30	29
	以下他の家庭類型は算出数値が「0」のため記載省略						
	小計			31	31	30	30
合計		1,057	41	41	40	40	38

問20、21(放課後の時間を過ごさせたい場所)で「ファミリー・サポート・センター」を選択した割合から算出。

#### 検討事項

算出された「量の見込み」と現状の利用実績との乖離が大きいため数値の精査が必要。現状の施設で提供体制は確保されていると判断するか?→ファミサポを選択した回答が少ないことが影響していると想定される。



## その他ニーズ調査によらないもの

家庭類型	H27	H28	H29	H30	H31
利用者支援事業	0	0	4	4	4
乳児家庭全戸訪問事業	436	434	424	414	403
養育支援訪問事業	3	3	3	3	3
妊婦健診	436	434	424	414	403

### ○利用者支援事業

子ども及びその保護者が、認定こども園・幼稚園・保育所での教育・保育や、一時預かり、放課後児童クラブ等の地域子育て支援事業等の中から適切なものを選択し円滑に利用できるよう、身近な場所で支援を行う。

### ○乳児家庭全戸訪問事業

生後4か月までのすべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図る。

### ○養育支援訪問事業

育児ストレス、産後うつ病、育児ノイローゼ等の問題によって、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や、様々な原因で養育支援が必要となっている家庭に対して、子育て経験者等による育児・家事の援助又は保健師等による具体的な養育に関する指導助言等を訪問により実施することにより、個々の家庭の抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図る。

### ○妊婦健診

適切な時期に必要な回数の妊婦健診が受診されることをめざし、妊婦健診の受診票を交付することにより、出産への経済的支援と、疾病等の予防措置として身体の異常の早期発見と適切な指導を行うことを目的として行う。